

## 会創立9周年記念山行 上越・三国山

福寿 新一

◎期日 2014年10月4日～5日

◎メンバー 赤澤（L）、藤野（SL）、塚本、川崎、星野、斎藤光子、斎藤幸子、大塚、國井、福寿

趣のある小さな橋を渡ると、すぐ右にシートのかかったスノーモービルがその爪先だけを覗かせて座し我らを迎えてくれた。前回積雪期に来訪した時の思い出が脳裏に去来する。楽しかった雪上のスノーモービル、油断すると道脇の側溝にスライドしていくのを立て直したり、技も必要だったなあ・・・

見上げると懐かしき赤澤氏別荘グルッペネージュが“今日は大勢でよく来たね。さあさあ入ってくれたまえ”と言っているかのように我らを見下ろしている。正面に、エントランスに続くよく整備された半割丸太の階段が10段くらいあろうか。登りきると手すりの付いたウッドデッキ、周囲の森が心地よく眺められる。背もたれのある小さな椅子に熱いコーヒーでもあればもう言うことなし。

扉を開けて中に入ると沓脱のスペース、さらに引き戸を開けるとホールになっており二重構造がいかにも雪国を彷彿とさせる。ホールの左手には壁にカンガルーの毛皮が装飾してある廻り階段があり、登りきるとそこは広い居室になっている。ソファ、テーブル山関係の本が随所に置かれた本棚に、壁には外国の山の写真が・・・いかにも山好きの山荘といったしつらえ。左手に3階に上がる階段、見上げると2、3階吹き抜けの高い天井、柱も梁も太い丸太の木組みも見事な凝った建築手法が見て取れる。仲間であった大工さんが自分好みに組み上げたものとか。それにしても有志4人で材木の皮むきから始めて年月をかけて作り上げたのは40年前の若き時代とはいえ偉業というものだ。歳月を感じる詫びも錆も我ら中高年の郷愁にも思える心地よさだ。山の仲間に使わせてもらえるのは誠にありがたく感謝申し上げたい。

**10月4日（土）** 12時15分山荘で昼食を済ませて三国トンネル脇の登山口にある駐車場に車を置き登山開始。三国山といえども取付きは急登で少し歩くと汗が滲み出す。赤澤リーダー少し速いのではと思うも、皆さんお喋りしながら歩いているし、やはり自分の体力減少によるものかと懸命に歩く。

12時45分三国峠着。そこには三国大権現、三社神社が祭られている。三社とは上野の国の赤城明神、信濃の国の諏訪明神、越後の国の弥彦明神、なれど現在の三県の境はここより西南西約12キロメートルにある白砂山との事、分水界でもあり昔も今も三国境であったのであろうが諸説が錯綜しておりハッキリと証明できる史実、文献は無いようである。ただ神社は幾度かの変遷を経てこの地に落ち着き近くにある山を三国山と名乗ったとの説もあるようだ。

急登を喘ぎながら登るとやがて木々の間から展望が開け始めリーダーが足を止めては山々の解説をしてくれる。幾重にも折り重なりどこまでも続く山なみは、よくぞこの国に生まれけりと思えるほどに美しい。やがて森林限界を越え穏やかな曲線の三国山が視界の中に入り、中に一筋山道らしき線が頂上に向かっている。整備された木製の階段の下は真っ黒い粘板岩の地層が露出されており、はるか昔、内湾の海底が隆起してこの山になったことを物語っていた。

13時45分 三国山頂着 南側の展望良し。皇海山、赤城山、榛名山、浅間山、稲包山とリーダーの説明は続く。思いおもいに食事をし、記念写真におさまると平標方面に向い歩を進める。千六百メートルの稜線はモミジやドウダンの紅葉も見事にアップダウンの疲れを癒してくれる。暫くすると北方稜線に黒雲が湧き上がり天気予報通りに悪天の兆しが見え始めた。まもなくピラミダルな小ピークに到着。三角山だ。雄大な大源太山は目と鼻の先だがピークは既に雲中だった。休息もそこそこに縦走路から別

れ左側の尾根に入る。サイマップでは廃道となっているがよく整備されてしっかりとしたルートだった。歩速はますます上がりついて歩くのも辛かったが幸いなことに膝痛がでなくて助かった。

この先毛無山辺りでキノコ狩りができるかもと多少の期待もむなしく食用種は既に収穫済みであった。途中倒木に手のひら大の月夜茸が鈴なりでいかにも食べられそうに誘いかけている。食べても死にはしないが腹痛、下痢、嘔吐に悩まされ排出物まで夜光性であるとリーダーから説明あり。毛無山を過ぎて急坂を下ると舗装路に出た。あとはのんびり歩いて山荘前につく。なんと登山計画書の健脚組コースを踏破したわけだ。

一年半も山歩きから離れすっかり自信を無くしていたがこのひと月の間低山歩きから初めて4回ほど山行し、もうバッチリですからと申し込んだ今回の登山だったが、その為に早歩きでトレーニング山行をしてくれたリーダーのやさしさが胸にしみる。結果、首をかしげながらもママアの評価、ありがたく頂戴いたします。

会創立9周年、それ以前から数えると十周年、少くらい離れていても逢えばすぐに仲間に入れる。このありがたみは何物にも代えられない。山仲間はほんとにすばらしい。

**10月5日** この日は朝から雨、予定の計画は中止となったがなぜかホットした感じ。昨日の山行で十分に満足であった。皆さんお世話になりました。



<記録> 10月4日 10:20 後閑駅前集合、 11:00 苗場山荘、 12:15 登山口、 12:45 三国峠、 13:45 三国山、  
15:05 三角山、 16:45 苗場山荘着